

ワークショップ18	
タイトル	家庭医による、妊娠前・産後を含めたマタニティケア
日時	6月13日(土) 13:50-15:50
企画責任者	水谷 佳敬 (公募企画)
定員	36名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>妊娠前のケア(葉酸摂取や風疹ワクチン、禁煙など)により、予防可能な周産期異常は多くあります。家庭医は妊娠前の女性に接する機会が多く、そのケアの担い手として期待されています。また、妊娠中に指摘された妊娠糖尿病や妊娠高血圧症候群は将来的な糖尿病や心血管イベント発症のリスク因子として注目されていますが、その認識がされていなかったり、産後のフォローが十分であるとはいえないのが現状です。そのため、産後の長期的なフォローも家庭医に求められています。本WSでは妊娠前・産後のケアを中心に、妊娠中のマイナートラブルや緊急性の判断ができるようになることを目標としています。プライマリケアから周産期領域に一步踏み込んだ内容となっています。内容は、2014年8月に開催された民間医局主催の「民間医局アカデミー 今さら聞けない!内科医に必要な他科の基本 産婦人科編」をベースに構成しています。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・妊娠前のケア 風疹ワクチンを中心とした予防接種、クラミジアや子宮頸癌などのスクリーニング検査、葉酸摂取による神経管欠損症の予防、禁煙やアルコールなどについて。また、計画的な妊娠のための避妊法など。・妊娠中のケア 妊娠中に起こるコモンプロブレムやマイナートラブルの対処。産科コンサルトを要する状態の認識と対応などについて・産後のケア 産後うつやインフルエンザ様症状で受診する乳腺炎、母乳栄養について。将来的な心血管イベントのリスク因子として注目される妊娠糖尿病や妊娠高血圧症候群のフォローについてなど。 <p>*当日の内容とは一部異なる可能性があります。</p>	